

## トゥーランドットあらすじ

場所 北京

主な配役

トゥーランドット姫	ソプラノ	中国の姫
カラフ	テノール	韃靼の王子。ティムールの息子
ティムール	バス	韃靼の盲目の前国王
リュウ	ソプラノ	韃靼の奴隷(盲目の国王に付き添っている)
ピン	バリトン	中国の大臣 宰相
パン	テノール	中国の大臣 内大臣
ポン	テノール	中国の大臣 大膳頭
皇帝アルトゥム	テノール	

### 第1幕

北京の街、宮城の前の広場。

役人が、トゥーランドット姫が三つの謎を解いた王子と結婚するが、謎が解けなければ斬首の刑になることを告げる。既に多くの王子が命を失っている。そこに、ペルシャの王子が、牽いてこられ、月の出とともに首を切られる。それを見る群集の中で、一人の老人が倒れ、若い女奴隷リュウが助けを求め。そこに来た若者カラフは、その老人が父親であり、韃靼の前国王である、ティムールであることを知る。ペルシャの王子の処刑の場にちらりと姿を現した姫の容姿を見たカラフは、トゥーランドット姫の美貌のとりこになり、父親とリュウの止めるのも聞かず、求婚の銅鑼を叩こうとする。そこに3人の大臣、ピン、パン、ポンが出てきて、彼を熱心にあきらめさせようとするが、カラフは銅鑼を叩く。

### 第2幕

王宮の中

ピン、パン、ポンは再び若者が命を落とすに違いないことを嘆き、故郷に帰って静かな生活を送りたいと歌う。この三重唱は美しい。

場面は変わって、玉座の間では、謎解きが始まる。トゥーランドット姫は、なぜこのようなことをするかを説明し、遠い昔に、ローラン姫が悲しい運命を遂げたことを悲しみ、その復讐のために、王子の命を奪うのだという。謎がかけられ、カラフはそのすべてを解く。しかし、トゥーランドット姫は何とかして、結婚を回避しようとするが、皇帝の[誓いは神聖である]という言葉に絶望する。しかし、カラフは姫に謎を出し、夜明けまでに姫がその謎を解けば自分は喜んで死ぬと告げる。その謎は自分の名前は何かというものである。

### 第3幕

#### 王宮の中の庭園

姫は皆に、誰も眠ることは許さず、名前を発見することを命令する。ここで、カラフのアリア「誰も寝てはならぬ」が歌われる。役人たちは必死になり、ティムールとリュウを捕まえて、拷問にかける。ティムールが拷問されそうになったとき、リュウが前に躍り出て、王子の名前を知っているのは私だといいいながら、短刀で胸を刺して、死ぬ。愛のために死ぬリュウを見て、トゥーランドット姫は心を動かされる。

プッチーニの作曲はここで終わっており、このオペラは未完であるが、弟子のアルファーノによって、完成させられた。